

## C-1 指導案

# 農業科学習指導案

指導日時・教室 平成18年11月15日(水)5限目 教室名 農業実験室I  
対象生徒・集団 総合グリーン科学科 3年(次)生 15人(内訳 男子6名 女子9名)  
科目名 野菜(単位数 2)  
使用教科書 野菜(実教出版)

## 1 単元名 キャベツ

## 2 単元の目標

- (1) 来歴、栽培の歴史、生産の動向、利用の仕方などを把握し、栽培について関心を持てる。  
【関心・意欲・態度】 【知識・理解】
- (2) 生育の特性と経営上の特性を理解できる。 【知識・理解】
- (3) 品種の特性と作型の種類を理解し、生育に適する環境条件などから科学的に判断して、栽培に適する品種や作型や栽培計画を立てることができる。  
【技能・表現】 【思考・判断】

## 3 指導にあたって

### (1) 生徒の状況

各系(グリーンデザイン系・バイオサイエンス系・フードテクノロジー系・ヒューマンセラピー系・アーステクノロジー系・フードビジネス系)からの生徒が選択している。まじめな生徒達であり、また2年次からの継続授業のためクラス全体の仲は良い。しかし、様々な系の生徒が選択しているため、目的意識を失いやすく、興味・関心を引き出すための工夫が多く必要である。また、読み書きが苦手な生徒もおり、授業の進行には配慮が必要である。

2年次からの継続授業のため、野菜の基本的・総合的な学習は行っている。それを各野菜に当てはめて応用した授業が要求され、より経営実践に近い学習の展開が必要となる。

### (2) 指導方針・方法

野菜の収穫・調整を通し、生産者側の立場と消費者の求めるものを考えさせる。そして、高品質で生産性を向上させるにはどうしたらよいかを考えさせる。また、野菜の生育変化と栽培管理の実施時期とも対比させ、基本的、体系的な知識と技術が身に付くようにする。

### (3) 教材選定の理由

キャベツは、身近にあって慣れ親しんできた野菜であるが、生育の特性などはあまり知られていない。結球といった特有の生育をすることで、興味・関心を持ちやすく、また、キャベツを通して、現在日本が抱えている農業問題も考えることができる。

## 4 単元の指導計画(総時数 16 時間)

第一次 栽培上の特性 ( 4 時間)

第二次 経営上の特性 ( 2 時間)

1時 経営上の特性①・・・・・・本時

2時 経営上の特性②

第三次 作型と品種の選び方 ( 2 時間)

第四次 栽培管理 ( 6 時間)

第五次 商品価値を高める技術 ( 2 時間)

5 本時の指導と評価の計画 (第 二 次 1 時)

(1) 本時のねらい

キャベツの市場 (価格・出荷量等) を理解するとともに、キャベツ栽培で普及している機械化一貫体系を活かし、キャベツ経営を多面的に考察できる。【知識・理解】 【思考・判断】

(2) 準備・資料等 プリント、ワークシート、ノートパソコン、プレゼンテーションソフト、スライドプロジェクター

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】 (評価方法)
5 導入	結球について	発問に対する答えを考える。	結球とは何か発問し、結球のしかたについて確認する。 ・ 充実型 ・ 肥大型	
30		<b>市場の動向を知る。</b>		
展 開	市場の動向について	周年栽培されていることを理解する。 <資料およびプレゼンテーションソフトのデータを考える> 春の出荷量が多くなる理由などを考える。	周年栽培されていることを確認および発問する。 ・ おもな産地について ・ 出荷量について ・ 各月別のキャベツ価格について (資料およびプレゼンテーションソフトによる説明) <野菜の安定供給のため、産地で出荷期間・出荷量など制限があることに留意する>	市場の動向を知り、機械化が進んでいることを理解できる。【知識・理解】 (観察 ノート)
	栽培技術について	近年の労働力不足と高齢化などに対応できる技術を理解する。 <全員学習 ノート記入>  10アール当たりの労働時間を確認する。 <教科書 p 135>	現在の農業問題を確認および発問する。 ・ 高齢化 ・ 後継者不足 ↓ その影響から機械化が進んでいることを説明する。 ・ 現在の栽培技術での労働時間を確認および発問する。 ・ 機械化により労働時間の短縮・軽減ができることを確認する。 (資料およびプレゼンテーションソフトによる説明) <機械の価格、維持費など留意する>	
15		<b>経営を考える</b>		
まとめ	経営について	市場価格を参考に労働時間が短縮できることで収益がどのようになるか考える。 <ワークシートの記入>	<ワークシート配布> 10アールあたりの労働時間および収益を理解する。 ・ 10アールあたりの出荷個数の提示 ・ 栽培期間を120日に設定 (機械化の問題点を探る) <農業は自然を相手に経営が成り立っていることに留意する>	キャベツ栽培の基本的な経営を考えることができる。【思考・判断】 (ワークシート)

